

沿革の概要

昭和 25 年 12 月に、京都府乙訓郡より京都市伏見区となる。

昭和 40 年以降の人口増加，児童数増加から羽束師・久我両地域の児童が通学していた神川小学校が収容しきれなかった。そこで，昭和 48 年に，一旦は神川小学校校舎建設促進委員会が発足した。

しかし，児童数が急増したため，市と委員会に請願した結果，昭和 51 年度・52 年度共に国庫補助が決定した。長岡京遺跡発掘調査による約 1 年間の工事中断後，昭和 53 年 4 月に分校期間なく直ちに独立開校した。

校章デザインは，羽束師神社宮司 古川俊三氏作。



昭和 53 年	4 月	羽束師小学校開校（4 月 5 日）開校式
	6 月	プール施工（6 月 29 日）
	8 月	南棟 12 教室増築工事開始
昭和 54 年	3 月	第 1 回卒業式 74 名 （男子 42 名，女子 32 名）
		校歌制定発表会
		南棟 4 階建校舎増築完成（12 教室）
		体育館横に観察池完成
		古電柱・古タイヤ利用の遊具，中庭花壇完成
昭和 55 年	8 月	体育館横に禽舎完成
	9 月	造形砂場完成
	11 月	体育館渡り廊下完成
昭和 56 年	9 月	奥志摩教育センター野外活動始まる
昭和 57 年	3 月	中庭造園完成（育友会）
昭和 58 年	3 月	南棟 4 階建校舎増築完成（8 教室）
		創立 5 周年記念誌（学校要覧刊行）
昭和 60 年		運動場改修
		創立 10 周年「育友会創立記念の集い」
		「羽束師子ども風土記」刊行
平成元年		プール更衣室完成
平成 4 年	9 月	学校週 5 日制実施
		創立 15 周年記念事業
平成 9 年		養護育成学級開設
		創立 20 周年記念事業
		ランチルーム・地域開放室完成
平成 12 年		運動場改修
平成 17 年	6 月	英語活動に ALT（外国語指導助手）の導入
平成 19 年		創立 30 周年記念事業「選書会」
	4 月	西校舎完成（1 階教室・2 階プール）
	6 月	創立 30 周年「お祝いの会」
平成 20 年	8 月	屋外トイレ棟（北・南校舎の間）完成
平成 21 年	2 月	体育館（屋根）耐震工事完了
平成 22 年	4 月	給食棟増築
	11 月	風力発電機寄付受納
平成 24 年	2 月	鳥小屋完成
平成 24 年	3 月	屏風（六曲一双）寄付受納
平成 29 年		創立 40 周年記念事業
令和元年	5 月	「平成」から「令和」へ改元
令和 2 年	3 月	新型コロナ感染拡大防止のため，臨時休校。
	4 月	新年度より 2 か月間，臨時休校。
	6 月	分散登校
令和 2 年	11 月	「第 72 回教育功労者表彰」受賞（英語教育・道徳教育）
令和 4 年	3 月	校舎内緊急連絡 IP インターホン設置